

「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現を目指して ～東京都総合戦略～（概要）

位置付け

「まち・ひと・しごと創生法」第9条の規定に基づく、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略

対象期間

2015(平成27)年度から2020(平成32)年度までの6か年（2020年大会を見据える）

策定の考え方

「東京都長期ビジョン」(平成26年12月策定)で掲げた目標や政策を基本に、特に「東京と地方」の共存共栄に焦点を当て、「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現を目指す

地方創生に対する東京都の考え方

「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現

東京と他の地域が、それぞれの持つ力を合わせて、共に栄え、成長し、日本全体の持続的発展へ

少子高齢・人口減少社会に対する都の姿勢

- 出生率を向上させ、人口減少に歯止め
- ワーク・ライフ・バランス
- 高齢者が地域で安心して生活できる社会
- 全ての人が活躍できる社会

東京の人口

人口の推計・分析

- 2020年の1,336万人をピークに減少に転じ、2060年には1,036万人と推計
- 2014年の合計特殊出生率は1.15と、都道府県別で最も低い
- 社会増は続くものの、全国的な人口減少の影響により縮小へ

人口の将来展望

- 都民の希望出生率(1.76)の実現を将来的な展望とする
- 人の移動は、個々人の選択によるもので、その意思に反して政策的に誘導することは困難

「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現に向けた取組

真の地方創生の実現に向けた3つの視点

視点① 「東京と地方」の共存共栄

東京と他の地域が、それぞれの持つ魅力を高め、互いに協力し合うことにより、共に栄え、成長する

視点② 首都・国際都市として更に発展し、日本経済を活性化

東京が首都・国際都市として、更に発展し、日本経済の持続的成長を支える

視点③ 少子高齢・人口減少社会に対する東京の挑戦

少子高齢・人口減少社会の到来に真正面から向き合い、人々の希望が叶う社会を実現する

重点的な取組を選び出し、地方創生に向けた都の考え方、姿勢を明瞭化

基本目標と政策

国総合戦略を勘案し、3つの基本目標を設定、「東京都長期ビジョン」で掲げた目標や政策を体系化

基本目標1 世界をリードし、発展し続ける国際都市・東京（東京ならではの観点）

基本目標2 誰もが希望を持ち、健やかで生き生きと暮らせる都市・東京（「ひと」「しごと」の観点）

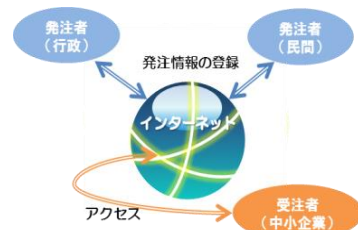
基本目標3 安全・安心で、将来にわたって持続可能な都市・東京（「まち」の観点）

「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現に向けた取組

視点① 「東京と地方」の共存共栄

- 全国各地と連携した産業振興
- 「東京と地方」の双方の魅力を生かした観光振興
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした各地域の活性化
- 「東京と地方」が連携した芸術文化振興の展開
- 官民連携再エネファンドを通じた投融资
- 都内区市町村と全国各地が連携した取組

など



<2020年大会の開催を契機としたビジネスチャンスの拡大>



<東京味わいフェスタ>



<全国各地と連携した外国人旅行者の誘致>



<都庁展望室における日本全国物産展>



<未来(あした)への道 1000km 縦断リレー>



<ボランティア活動の気運醸成>
東京マラソンのボランティアの様子
(写真提供)東京マラソン財団



<東京キャラバン of 日本各地での展開>
「東京キャラバン」公開ワークショップショーケース
撮影:鈴木種蔵



<アール・ブリュットの巡回展(イメージ)>
「ヒューマンライツ・フェスタ東京 2015」
アール・ブリュット美術展

視点② 首都・国際都市として更に発展し、日本経済を活性化

- 世界一の国際経済都市
- 観光都市としての発展
- 多言語対応の推進
- 都市インフラの整備
- 水素社会の実現



<東京駅八重洲地区のまちづくり>



<燃料電池車>
(写真提供)トヨタ自動車株式会社

視点③ 少子高齢・人口減少社会に対する東京の挑戦

- 安心して子供を産み育てられるまちの実現
- 高齢者が地域で安心して暮らせる社会の実現
- 全ての人が活躍できる社会の実現
- ワーク・ライフ・バランスと働き方改革
- 豊かで快適な住環境の創出(空き家対策)
- 一都三県の連携・協力



<認証保育所の様子>



<集約型地域構造のイメージ>

「東京と地方」が、それぞれの持つ力を合わせて、共に栄え、成長し、日本全体の持続的発展へ